学校番号	102

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	新編古典Ｂ　改訂版(大修館書店)						
副教材等	読解をたいせつにする　体系古典文法　九訂版　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

作品の背後にある作者の考え方や時代背景などを学習します。また、古典を読解していくために、必要な知識についても学習を進めていきますので、古典文法書、古語辞典、漢和辞典など必要なものを準備して毎日忘れず授業に臨みましょう。Chromebook も積極的に使用していきます。

２　学習の到達目標

１．古典としての古文・漢文を読む能力を養う。
２．様々な古典を読むことによって、ものの見方、感じ方、考え方を広くする。
３．古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度			d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	・授業時の反応 ・発問 ・プリント			・定期考査 ・発問 ・プリント	・定期考査 ・小テスト ・プリント ・指名読み ・発問

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	愛の始まり―物語　源氏物語	『源氏物語』 ・長編物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・和歌を含む物語を読んで、物語における和歌の役割を考える。 ・敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。	○			◎	○	a：『源氏物語』と紫式部について関心をもち、理解を深めようとしている。 d：①登場人物の関係性を把握し、心情を捉えている。 d：②文章に表れた人間の考えや感情を読み取り、ものの見方、考え方を深めている。 e：①・平安時代の宮中の様子や、結婚形態、習慣などについて、基本的な事柄を理解している。 e：②『源氏物語』について、その構成や内容の概略、文学史的な位置づけについて理解している。	a：行動の分析(発言・ノート) d: ・行動の観察(発言・ノート) ・定期考査 e: ・行動の観察(発言・ノート) ・定期考査 ・小テスト
	歴史と人間―歴史物語	『大鏡』 ・歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・戯曲的な構成を理解し、内容を的確に捉える。 ・助詞、助動詞について理解する。 ・敬語について理解し、口語訳に適切にいかす。 ・歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を読み味わう。	○			◎	○	a：『大鏡』や歴史物語について関心をもち、理解を深めようとしている。 d：①和歌と漢詩に表された登場人物の心情を読み取っている。 d：②作者の視点を捉え、登場人物にどのような心情を抱いているかを分析している。 e：『大鏡』の構成と内容（紀伝体・対話形式）、歴史物語としての特色や、文学史的な位置づけについて理解している。	a：行動の分析(発言・ノート) d: ・行動の観察(発言・ノート) ・定期考査 e: ・行動の観察(発言・ノート) ・定期考査 ・小テスト

	愛の行方―浮世草子・浄瑠璃	『好色五人女』 ・古典の文章を読み、ものの見方、考え方を広げたり深めたりする。 ・平安文学との比較を通して、作品の歴史的背景を捉える。	○			◎	○	a:『好色五人女』や作者井原西鶴、近世文学について関心をもち、理解を深めようとしている。 d:①お七と吉三郎の恋が深まってく様子を、二人の行動や心情に注意して読み取っている。 d:②既習の『源氏物語』と比較して、作品の歴史的背景を捉えている。 e: 元禄時代の社会背景や時代の特徴の概略を理解している。	a:行動の分析(発言・ノート) d: ・行動の観察(発言・ノート・ワークシート) ・定期考査 e: ・行動の観察(発言・ノート) ・定期考査 ・小テスト
2学期	黄粱一炊の夢	「枕中記」 ・散文表現の特色を理解する。 ・作品に表れる作者の社会観、自然観を読み取り、自己の感じ方や考え方を豊かにする。 「黄粱夢」 ・作品に表れる作者の社会観、自然観を読み取り、自己の感じ方や考え方を豊かにする。	○			◎	○	a:長文に親しみ、物語のおもしろさや表現の巧みさを読み取ろうとしている。 d:①登場人物を整理し、その行動と言葉を把握している。 d:②巧みなストーリー展開のおもしろさを読み味わっている。 d:③「枕中記」と「黄粱夢」を関連させて表現や内容を読み取ろうとしている。 e:①既習の句法について整理し理解を深めている。 e: ②作者の考え方を理解している。	a:行動の分析(発言・ノート) d: ・行動の観察(発言・ノート・ワークシート) ・定期考査 e: ・行動の観察(発言・ノート) ・定期考査 ・小テスト
	家族を思う―物語	『雨月物語』 ・近世小説を読んで、大意把握の力を養う。) ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・近世の語彙・語法を理解する。	○			◎	○	a: 『雨月物語』や江戸時代の文学について関心をもち、理解を深めようとしている。 b:①勝四郎と宮木の行動と言葉を読み取り、人物像をつかんでいる。 b:②勝四郎と宮木の言動から、それぞれの心情と二人の間の断絶を読み取っている。 b:③再会の翌朝、勝四郎が知った真実はどのようなものかを読み取っている。 e:①地名や戦乱などの歴史的背景について確認している。 e:②『雨月物語』の内容や作者、文学史的な位置づけについて理解している。	a:行動の分析(発言・ノート) d: ・行動の観察(発言・ノート・ワークシート) ・定期考査 e: ・行動の観察(発言・ノート) ・定期考査 ・小テスト

3学期	愛の行方―浮世草子・浄瑠璃	『曾根崎心中』 ・文章の内容を展開に即して的確に理解し、その特色をとらえる。	○			◎	○	a: 作品の内容を理解し、古典芸能への関心を高めようとしている。 b:①本文の構成を把握し、話の展開を理解している。 b:②「心中にいたる悲劇」を読み取っている。 b:③七五調の文章のリズムに注意し、工夫して朗読や暗唱をしている。 e: 作品の歴史的背景について、封建社会であり自由な恋愛が制限されていたことなど基本的な事柄を理解している。	a:行動の分析(発言・ノート) d: ・行動の観察(発言・ノート・ワークシート) ・定期考査 e: ・行動の観察(発言・ノート) ・定期考査 ・小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く　c:書く能力　d:読む能力
e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。